



宿泊旅行調査 2006



2006年8月3日

株式会社リクルート 国内旅行カンパニー

株式会社リクルートの国内旅行カンパニーに設置されたじゃらんリサーチセンター(センター長:玉沖仁美)では、この度、全国約1万人の宿泊旅行者を対象に、「じゃらん宿泊旅行調査2006」を実施しました。

この調査は、昨年度1年間(2005年4月~2006年3月)における国内での宿泊旅行の実態について、その行き先や回数、旅行費用などについて調査したもので、今年で2回目の調査となります。

主な結果は以下の通りです。

<TOPICS>

●昨年度1年間(2005年4月~2006年3月)の全国の宿泊旅行※1者数は、延べ約1億7,900万人(昨年比3.1%増)。延べ宿泊数は約3.09億泊(昨年比6.3%増)であり、延べ宿泊旅行者数・延べ宿泊数ともに、昨年と比べて増加している。……………P3

※1 宿泊旅行…国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く

●全国の宿泊旅行にかけられた費用総額は約8.8兆円で昨年から大きな変化はみられない。……………P4

●延べ宿泊者数の多い旅行先は、昨年と同様の顔ぶれが上位に並ぶ。
宿泊旅行にかけられた費用総額の多い旅行先は、沖縄県・愛知県が大きく総額を伸ばし順位を上げた。
また愛知県は、費用総額とともに旅行者数も増加しており、“愛・地球博”の効果が影響していると思われる。……………P5

■《テーマ別・都道府県ランキング》

▶美味しい食べ物が多かった	1位	福井県	2位	石川県	3位	長崎県
▶魅力のある特産品や土産物が多かった	1位	沖縄県	2位	京都府	3位	高知県
▶魅力的な宿泊施設が多かった	1位	大分県	2位	沖縄県	3位	熊本県
▶地元の人のホスピタリティを感じた	1位	沖縄県	2位	宮崎県	3位	奈良県
▶子供が楽しめるスポットや施設が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	宮崎県
▶若者が楽しめるスポットや施設が多かった	1位	大阪府	2位	千葉県	3位	沖縄県
▶大人が楽しめるスポットや施設が多かった	1位	京都府	2位	東京都	3位	沖縄県

……………P6・7

【2005年版との調査・集計手法の変更点】

旅行費用について、異常値が平均値に大きな影響を与えることを避けるために、トリム平均を行った。

※トリム平均とは…データの異常値を取り除き、データの精度を高めるために、データ全体の上限と下限から一定の割合のデータを削除した後、データの平均をとる統計処理手法。本調査では、上下合計0.5%の範囲にあるデータを削除するトリム平均を実施している。また、前回調査ではトリム平均を用いていなかったことから、2005年度の数値について再集計を行ったうえで、昨年比較をしている。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

調査概要

◎調査名 :じゅらん宿泊旅行調査2006

◎調査方法 :インターネットによる調査

◎調査の種類

<1次調査> ◎調査時期 2006年4月10日～17日

◎調査対象 全国20～79歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)

◎配信数 82,059件

◎調査内容 昨年度1年間の国内宿泊旅行(出張・帰省・修学旅行などを除く)の有無について

◎回収数 50,000件(回収率60.9%)

◎集計対象数 20,000件 ※回収された5万件のうち、都道府県別・性年代別に割付を行い、2万件を抽出した。

<2次調査> ◎調査時期 2006年4月18日～25日

◎調査対象 1次調査において、昨年度1年間に国内宿泊旅行をした、と回答した人

◎対象者数 32,223件

◎配信数 12,756件 ※配信数は対象者の中から都道府県別・年代別の割付に従ってランダムに抽出した。

◎調査内容 昨年1年間に実施したすべての宿泊旅行(出張・帰省・修学旅行などを除く)の行き先と回数について、また1人最大3件までの個別宿泊旅行について、具体的な内容を調査した。

◎回収数 10,250件(回収率80.4%)

◎集計対象数 10,222件

◎回答者の属性

<1次調査>

全体	男性	女性	全体	20～34歳	35～49歳	50～79歳						
20,000 (100.0%)	11,790 (59.0%)	8,210 (41.1%)	20,000 (100.0%)	6,438 (32.2%)	5,085 (25.4%)	8,477 (42.4%)						
全体	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	栃木県	群馬県	茨城県	埼玉県	
20,000 (100.0%)	1,000 (5.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	400 (2.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	400 (2.0%)	400 (2.0%)	400 (2.0%)	600 (3.0%)	1,000 (5.0%)	
千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	長野県	新潟県	富山県	石川県	福井県	静岡県	岐阜県	愛知県	
1,000 (5.0%)	1,200 (6.0%)	1,000 (5.0%)	200 (1.0%)	400 (2.0%)	400 (2.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	600 (3.0%)	400 (2.0%)	1,000 (5.0%)	
三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	
200 (1.0%)	200 (1.0%)	600 (3.0%)	1,000 (5.0%)	1,000 (5.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	400 (2.0%)	600 (3.0%)	200 (1.0%)	
徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	1,000 (5.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	

<2次調査>

全体	男性	女性	全体	20～34歳	35～49歳	50～79歳						
10,222 (100.0%)	5,189 (50.8%)	5,033 (49.2%)	10,222 (100.0%)	3,218 (31.5%)	2,954 (28.9%)	4,050 (39.6%)						
全体	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	栃木県	群馬県	茨城県	埼玉県	
10,222 (100.0%)	508 (5.0%)	106 (1.0%)	103 (1.0%)	204 (2.0%)	102 (1.0%)	101 (1.0%)	204 (2.0%)	207 (2.0%)	203 (2.0%)	311 (3.0%)	500 (4.9%)	
千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	長野県	新潟県	富山県	石川県	福井県	静岡県	岐阜県	愛知県	
507 (5.0%)	599 (5.9%)	502 (4.9%)	104 (1.0%)	205 (2.0%)	205 (2.0%)	107 (1.0%)	111 (1.1%)	104 (1.0%)	305 (3.0%)	207 (2.0%)	508 (5.0%)	
三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	
103 (1.0%)	103 (1.0%)	305 (3.0%)	500 (4.9%)	502 (4.9%)	108 (1.1%)	103 (1.0%)	103 (1.0%)	110 (1.1%)	206 (2.0%)	302 (3.0%)	100 (1.0%)	
徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
104 (1.0%)	107 (1.0%)	100 (1.0%)	105 (1.0%)	514 (5.0%)	106 (1.0%)	107 (1.0%)	104 (1.0%)	103 (1.0%)	104 (1.0%)	105 (1.0%)	105 (1.0%)	

※集計・分析手法について

はじめに平成16年10月1日現在推計人口(総務省統計局発表)および1次調査結果を用いて、全国の宿泊旅行者の母集団を推計した。次に、2次調査の集計・分析にあたり、推計された宿泊旅行者の母集団における都道府県別・性年代別構成比に基づいてウェイトバックを行い、構成比のずれを補正している。

◇じゃらんリサーチセンターの概要

「じゃらんリサーチセンター」は、国をはじめ地方自治体、観光関連事業者にとって、すぐに使える情報を広く提供し、かつ、日本の観光振興にさまざまな切り口から提案を行うことで、新しい観光ムーブメントを創出し、観光産業全体のさらなる活性化に寄与することを狙いとし、2005年8月、株式会社リクルート国内旅行カンパニー内に設置された組織です。

昨年度1年間(2005年4月～2006年3月)の全国の宿泊旅行※1者数は延べ約1億7,900万人(昨年比3.1%増)、延べ宿泊数は約3.09億泊(昨年比6.3%増)であり、延べ宿泊旅行者数・延べ宿泊数ともに、昨年と比べて増加している。

昨年度1年間に宿泊旅行を行った人の割合は、65.4%→66.1%と昨年より増加。宿泊旅行経験者の年間平均旅行回数は2.73回→2.78回、1旅行あたりの平均宿泊数は1.68泊→1.72泊であり、いずれも昨年より増加している。その結果、全国の延べ宿泊旅行者数は約1億7,900万人、延べ宿泊数は約3.09億泊と推計され、昨年と比べて増加している。

※1 宿泊旅行・・・国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行等を除く。

◇延べ宿泊旅行者数の推計方法

	H16.10.1現在 推計人口	調査結果			推計値		
	人口 (万人) <A>	宿泊旅行 実施率 (%) 	宿泊旅行 経験者の 年間平均 旅行回数 (回) <C>	宿泊旅行 経験者の 1回の旅行あたり 平均宿泊数 (泊) <D>	実 宿泊旅行者数 (万人) A*B	延べ 宿泊旅行者数 (万人回) A*B*C	延べ 宿泊数 (万泊) A*B*C*D
20～34歳 / 男性	1,337	61.4	2.68	1.77	821	2,201	3,895
20～34歳 / 女性	1,292	66.7	2.65	1.71	862	2,284	3,906
35～49歳 / 男性	1,227	62.2	2.85	1.66	763	2,175	3,610
35～49歳 / 女性	1,216	64.8	2.56	1.80	788	2,017	3,630
50～79歳 / 男性	2,219	67.4	2.99	1.75	1,496	4,472	7,826
50～79歳 / 女性	2,431	69.7	2.79	1.69	1,694	4,726	7,988

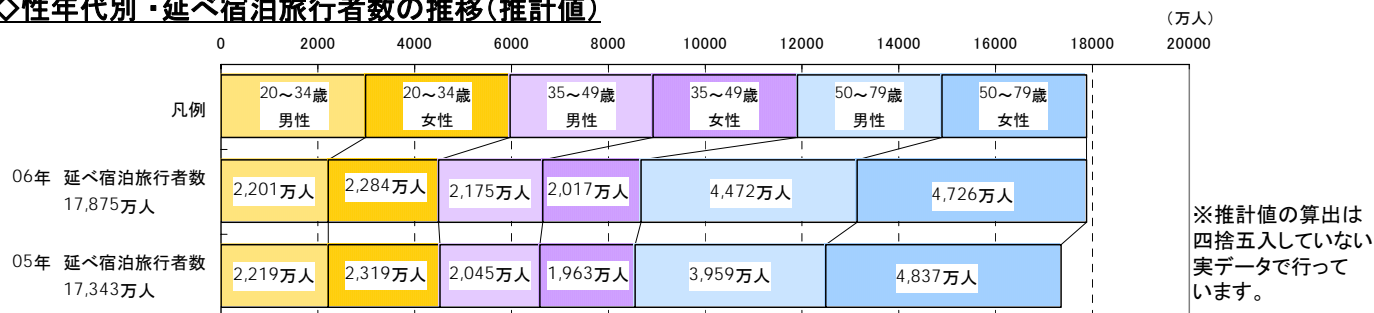
↓上記セルの合計

↓上記セルの合計 ↓上記セルの合計 ↓上記セルの合計

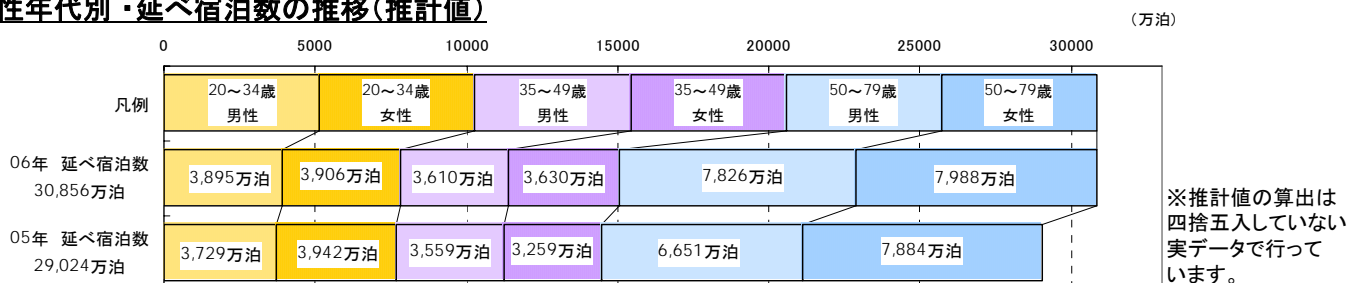
[06年]全国20～79歳男女	9,722	66.1	2.78	1.72	6,424	17,875	30,856
[05年]全国20～79歳男女	9,707	65.4	2.73	1.68	6,350	17,343	29,024
	<a> (万人)	b÷a (%)	c÷b (回)	d÷c (泊)	 (万人)	<c> (万人)	<d> (万泊)

※推計値の算出は四捨五入していない実データで行っています。
※05年調査について、15.10.1現在の推計人口を用いています。

◇性年代別・延べ宿泊旅行者数の推移(推計値)



◇性年代別・延べ宿泊数の推移(推計値)



TOPIC 宿泊旅行にかけられた費用

全国の宿泊旅行にかけられた費用総額は、約8.8兆円で昨年から大きな変化はみられない。

全国の宿泊旅行にかけられた費用総額は、合計総額約8.8兆円、個人旅行※2による消費約7.3兆円、パック旅行による消費約1.5兆円と推計される。

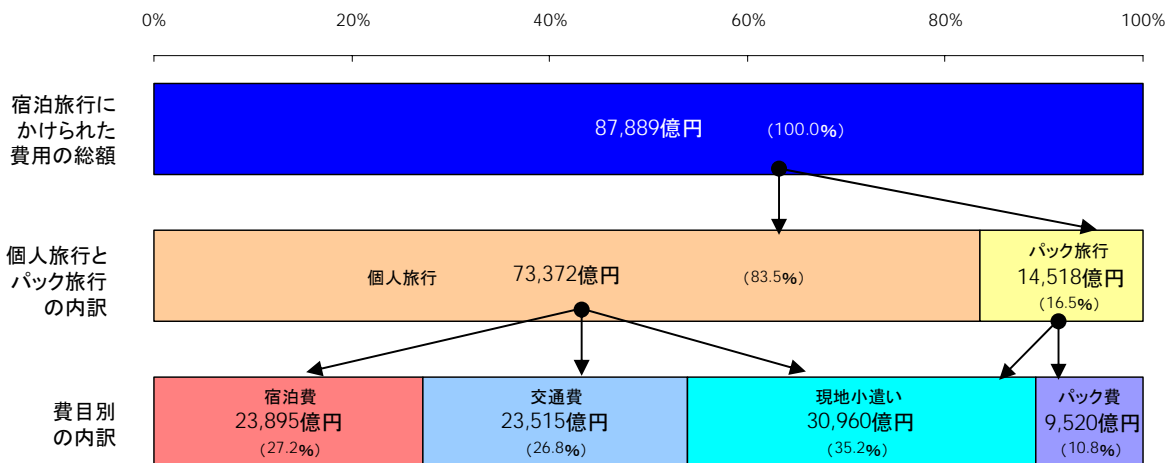
1回の宿泊旅行にかけられた1人あたり平均費用※3は、全体で昨年より1,400円減少しており、項目別の内訳をみても、宿泊費・交通費・現地小遣い※4・パック費ともに少しずつ減少している。しかし、延べ宿泊旅行者数が増加していることにより、マーケット全体の総額では昨年から大きな変化はみられなかった。

※2 個人旅行・・・個人で宿を手配した旅行で、旅行会社を通して宿を手配した場合も含む。

※3 1回の宿泊旅行にかけられた1人あたり平均費用・・・1回の宿泊旅行にかけた費用について、個人旅行の場合、1人あたりの宿泊費・交通費・現地小遣いの合計、パック旅行の場合、1人あたりのパック費・現地小遣いの合計。20歳未満の子供を連れた旅行の場合は、全員でかかった費用を同行した大人の人数で割っている。

※4 現地での小遣い・・・旅行先での飲食・買い物、娯楽費、目的エリア内での移動費用を含む。

◇宿泊旅行にかけられた費用総額(推計値)



(単位:[上段]億円、[下段]%)

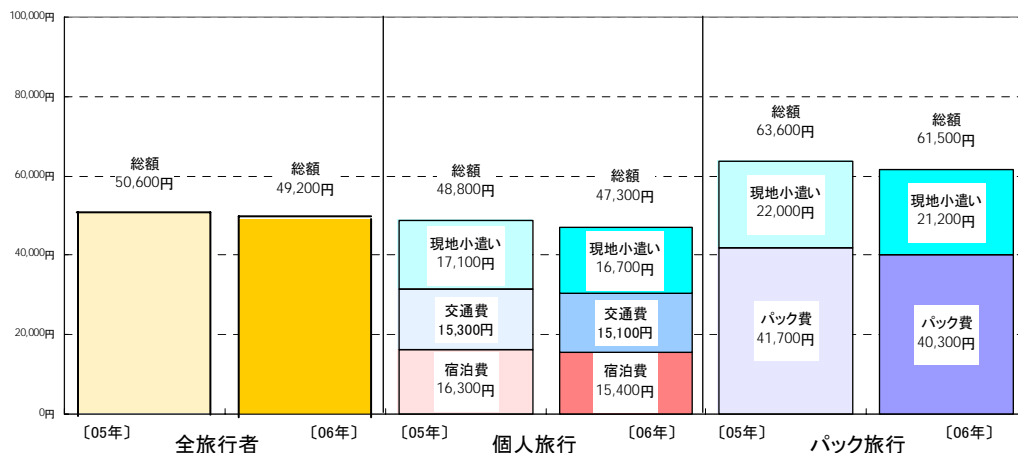
〈参考〉05年-06年比較

宿泊旅行にかけられた費用総額(推計値)

	宿泊旅行にかけられた費用の総額	個人旅行とパック旅行の内訳		費目別の内訳			
		個人旅行	パック旅行	宿泊費	交通費	現地小遣い	パック費
06年	87,889 (100.0%)	73,372 (83.5%)	14,518 (16.5%)	23,895 (27.2%)	23,515 (26.8%)	30,960 (35.2%)	9,520 (10.8%)
05年	87,835 (100.0%)	73,957 (84.2%)	13,878 (15.8%)	24,715 (28.1%)	23,265 (26.5%)	30,771 (35.0%)	9,084 (10.3%)

◇1回の宿泊旅行にかかる費用(大人1人あたり)

※金額については、百の位までの四捨五入で示しているため、合計が合わない場合があります。



＜宿泊旅行費用総額の推計方法＞

- ①集計データより性・年代別に個人旅行とパック旅行の延べ宿泊旅行者数を推計
- ②性・年代・手配方法(個人orパック)別の旅行費用の平均値(単価)を算出
- ③性・年代・手配方法別の延べ宿泊旅行者数に単価を乗じ、性・年代・手配方法別の費用総額を算出
- ④全国の費用総額について、性・年代別の費用総額の結果を積み上げて算出

**延べ宿泊旅行者数の多い旅行先は、昨年と同様の顔ぶれが上位に並ぶ。
宿泊旅行にかけられた費用総額の多い旅行先は、沖縄県・愛知県が大きく総額を伸ばし順位を上げた。**

また愛知県は、費用総額とともに宿泊旅行者数も増加しており、“愛・地球博^(2005年3月25日～9月25日開催)”の効果が影響していると思われる。

愛知県は、昨年に比べ延べ宿泊者数が213万人、費用総額が1,282億円増えており、いずれも他の都道府県と比較して大幅な増加となった。

◇都道府県別の延べ宿泊旅行者数(推計値)

※上位10都道府県

全体			
2006 推計値		順位変動	2005 推計値
1位 東京都	1,629万人	←	(1位 1,589万人)
2位 北海道	1,376万人	←	(2位 1,454万人)
3位 長野県	1,009万人	←	(3位 1,063万人)
4位 静岡県	986万人	←	(4位 942万人)
5位 神奈川県	887万人	←	(5位 879万人)
6位 京都府	754万人	←	(6位 749万人)
7位 大阪府	727万人	←	(7位 678万人)
8位 千葉県	670万人	←	(8位 650万人)
9位 愛知県	668万人	↑	(13位 455万人)
10位 兵庫県	574万人	←	(10位 530万人)

※上記の人数には、出張・帰省・修学旅行等による宿泊者数は含まない。

〈参考〉延べ宿泊旅行者増加数(推計値)
※上位5都道府県

1位 愛知県	213万人
2位 広島県	72万人
3位 福島県	71万人
4位 沖縄県	68万人
5位 福岡県	58万人

〈参考〉費用総額増加額(推計値)
※上位5都道府県

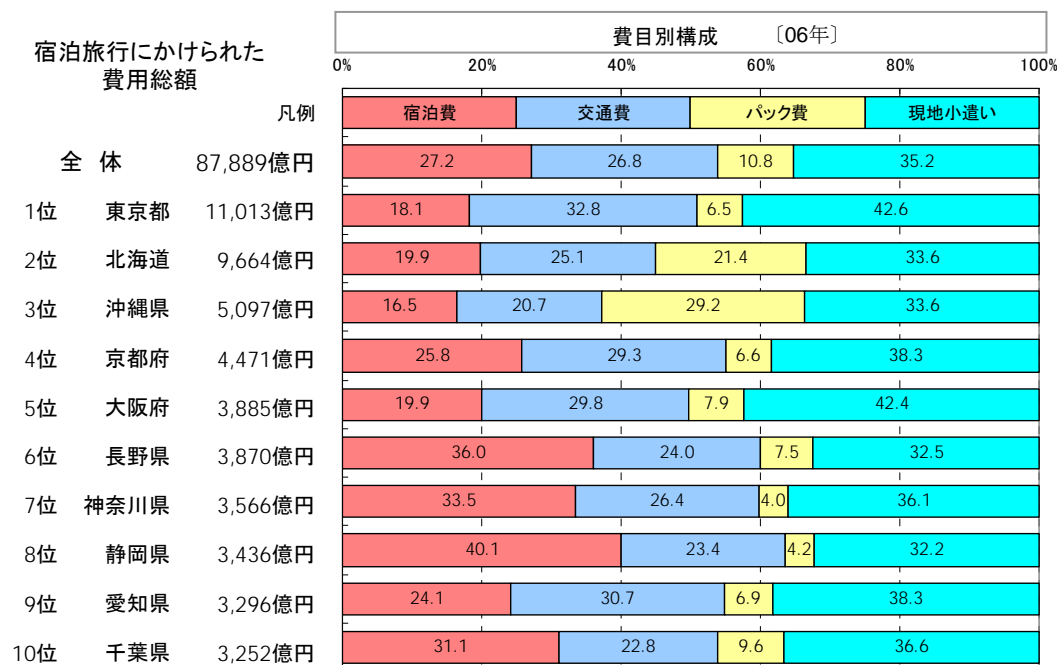
1位 愛知県	1,282億円
2位 沖縄県	854億円
3位 広島県	359億円
4位 福島県	343億円
5位 三重県	226億円

◇宿泊旅行にかけられた費用総額(推計値)

※上位10都道府県

全体			
2006 推計値		順位変動	2005 推計値
1位 東京都	11,013億円	←	(1位 11,769億円)
2位 北海道	9,664億円	←	(2位 9,992億円)
3位 沖縄県	5,097億円	↑	(5位 4,244億円)
4位 京都府	4,471億円	←	(4位 4,292億円)
5位 大阪府	3,885億円	↑	(7位 3,798億円)
6位 長野県	3,870億円	↓	(3位 4,452億円)
7位 神奈川県	3,566億円	↓	(6位 3,823億円)
8位 静岡県	3,436億円	←	(8位 3,774億円)
9位 愛知県	3,296億円	↑	(12位 2,014億円)
10位 千葉県	3,252億円	↓	(9位 3,089億円)

◇宿泊旅行にかけられた費用総額(推計値)※上位10都道府県



〈宿泊旅行費用総額の推計方法〉

- ①集計データより性・年代別に個人旅行とパック旅行の延べ宿泊旅行者数を推計
- ②性・年代・手配方法(個人orパック)別の旅行費用の平均値(単価)を算出
- ③性・年代・手配方法別の延べ宿泊旅行者数に単価を乗じ、性・年代・手配方法別の費用総額を算出
- ④全国の費用総額について、性・年代別の費用総額の結果を積み上げて算出

(単位:%)

■美味しい食べ物が多かった

ー 福井県・石川県が上位。カニをはじめ豊富な海の幸に恵まれたエリアが強さをみせる結果に。

1位は福井県。2位は石川県。両県への旅行目的をみても「美味しいものを食べる」が福井県:55.4%、石川県:59.1%となっており比率が高い。特産品のカニをはじめ、若狭湾や能登半島など豊富な海の幸がその背景にあると考えられる。

全体平均	64.8
1位 福井県	81.0
2位 石川県	80.9
3位 長崎県	80.0
4位 高知県	78.5
5位 北海道	77.7
6位 三重県	75.9
7位 京都府	75.2
8位 熊本県	73.7
9位 愛媛県	73.4
10位 静岡県	73.1

(単位:%)

■魅力のある特産品や土産物が多かった

ー 沖縄県・京都府といった文化的な特徴が際立つ都道府県が支持を集める。

1位は沖縄県、2位は京都府とそれぞれ文化的な特徴が際立った都道府県が上位となった。一般的に、各観光地で、銘菓や民芸品に加えてご当地食材などに力を入れていると言われており、各都道府県が、その土地ならではの品で旅行者を満足させている様子が見える。

全体平均	46.5
1位 沖縄県	69.5
2位 京都府	69.2
3位 高知県	61.0
4位 長崎県	59.9
5位 北海道	59.3
6位 香川県	58.2
7位 石川県	57.6
8位 愛媛県	57.3
9位 宮崎県	55.3
10位 鹿児島県	54.1

(単位:%)

■魅力的な宿泊施設が多かった

ー 「大分県＝由緒ある有名温泉地での旅館ステイ」「沖縄県＝リゾート地でのホテルステイ」が高い支持を集めて上位に。

1位は、由布院温泉・別府八湯温泉といった由緒ある有名温泉地を抱える大分県。2位にはリゾート地として人気の高い沖縄県がつけた。また非掲載の本調査データによれば、大分県では47.6%の人が旅館に、沖縄県では60.1%の人がリゾートホテルに宿泊している。

全体平均	43.9
1位 大分県	64.5
2位 沖縄県	63.0
3位 熊本県	57.4
4位 長崎県	54.8
5位 石川県	54.1
6位 千葉県	52.2
7位 京都府	51.2
8位 北海道	50.3
9位 神奈川県	48.5
9位 愛媛県	48.5

(単位:%)

■地元の人々のホスピタリティを感じた

ー 九州エリア・東北エリアが上位に顔を並べる。

1位は特有の文化が際立つ沖縄県。上位10県をみると、九州エリアから沖縄県・宮崎県・長崎県・大分県・鹿児島県の5県が、東北エリアから秋田県・青森県・山形県の3県がランクインしており、九州エリアと東北エリアが上位を占める結果となった。

全体平均	28.8
1位 沖縄県	52.6
2位 宮崎県	49.1
3位 奈良県	46.5
4位 秋田県	44.1
5位 青森県	43.7
6位 山形県	39.2
7位 長崎県	38.4
8位 愛媛県	37.9
9位 大分県	37.3
9位 鹿児島県	37.3

(単位:%)

■子供が楽しめるスポットや施設が多かった

- ー 東京ディズニーリゾートの根強い人気を基盤に、千葉県が断トツの1位に輝く。

1位は千葉県。2位以下を20ポイント以上の差で離す結果となった。断トツの1位の理由は、東京ディズニーリゾートが大きな要因になっていると推測される。2位には、今回のランキングで「子供が楽しめる」「若者が楽しめる」「大人が楽しめる」という3部門で安定して高い評価を獲得している沖縄県が続く。

全体平均		26.1
1位	千葉県	63.2
2位	沖縄県	39.3
3位	宮崎県	37.5
4位	大阪府	36.9
5位	三重県	36.7
6位	愛知県	34.8
7位	栃木県	34.3
8位	東京都	33.2
9位	和歌山県	32.7
10位	福岡県	30.3

(単位:%)

■若者が楽しめるスポットや施設が多かった

- ー ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、東京ディズニーリゾートといったテーマパークを擁する大阪府、千葉県が上位に並ぶ。

1位大阪府、2位千葉県とそれぞれユニバーサル・スタジオ・ジャパン、東京ディズニーリゾートという大型テーマパークを擁する都道府県が上位に。大阪府・千葉県ともに、旅行目的でも「テーマパーク」が最も多い回答になっている。

全体平均		31.8
1位	大阪府	60.6
2位	千葉県	60.4
3位	沖縄県	59.1
4位	東京都	57.8
5位	福岡県	53.4
6位	愛知県	39.3
7位	神奈川県	38.8
8位	宮崎県	36.6
9位	兵庫県	32.7
10位	北海道	31.8

(単位:%)

■大人が楽しめるスポットや施設が多かった

- ー 歴史の街・京都が堂々の1位。「名所・旧跡めぐり」を目的とした大人から高い支持を集める。

1位は歴史の街、京都。旅行目的でも「名所、旧跡の観光」が63.0%と突出して高い。次いで「まちあるき、都市散策」「花見や紅葉などの自然観賞」と大人好みの目的での来訪者が多く、これらの期待にきちんと応えている様子が見える。

全体平均		46.3
1位	京都府	63.3
2位	東京都	61.5
3位	沖縄県	60.9
4位	千葉県	60.2
5位	大阪府	59.1
6位	福岡県	56.5
7位	神奈川県	52.2
7位	長崎県	52.2
9位	大分県	50.9
10位	北海道	49.1

<ランキングの算出方法>

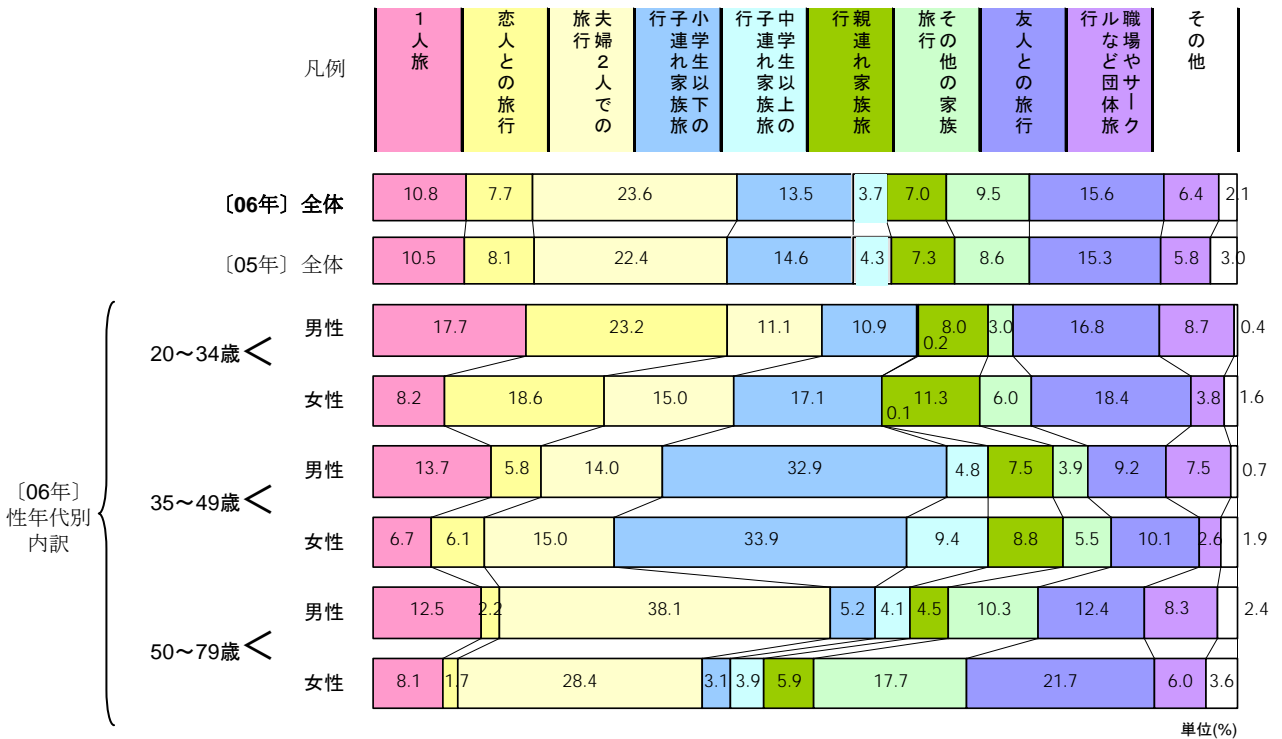
①各テーマに関して、訪問した都道府県の評価を「そう思う」「ややそう思う」「普通」「ややそう思わない」「そう思わない」の5段階から選択。

②「そう思う」「ややそう思う」の合計した割合が多い順に都道府県をランキングしている。

※集計は、延べ宿泊旅行件数をベースとしている。

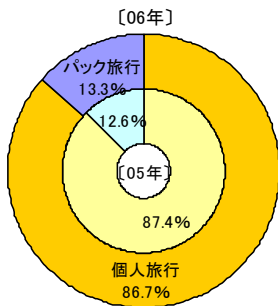
<参考:その他の調査結果>

◇宿泊旅行の同行形態 <ベース:延べ宿泊旅行件数>



◇宿泊旅行の手配方法

<ベース:延べ宿泊旅行件数>



※ 個人旅行…個人で宿を手配した旅行で、旅行会社を通して宿を手配した場合も含む。

◇性・年代別 宿泊旅行の手配方法

<ベース:延べ宿泊旅行件数>

		個人旅行		バック旅行	
		(06年)	(05年)	(06年)	(05年)
全体		86.7	87.4	13.3	12.6
20~34歳	男性	90.9	91.9	9.1	8.1
	女性	87.4	87.0	12.6	13.0
35~49歳	男性	91.5	91.5	8.5	8.5
	女性	87.4	88.4	12.6	11.6
50~79歳	男性	87.6	88.5	12.4	11.5
	女性	81.3	82.6	18.7	17.4

単位(%)

◇宿泊旅行の目的(複数回答) <ベース:延べ宿泊旅行件数>

